

## 学生の皆さんへ

この度、神戸大学工学部、工学研究科では、世界トップクラスの研究機関としての継続的成長や理工系人材の育成強化の観点から、授業の英語化を促進することになりました。専門科目としての特質や配当学年を考慮して、各授業科目に英語化カテゴリーを設定し、専門的知識の獲得だけでなくグローバル展開可能な学生の育成を目指します。

授業科目の英語化度合いを表す指標として、以下の授業英語化カテゴリーを設定します。

カテゴリーA : 授業、教科書、配付資料が全て英語である。但し、必要に応じて日本語でのフォローが入る。

(英語化における到達目標) 英語にて口頭で議論、質疑応答できるようになる

カテゴリーB : 授業は日本語で実施するが、教科書および/または配付資料は英文・和文を併用する。定期試験等の問題一部に英語表現が含まれる可能性がある。

(英語化における到達目標) 英語の技術論文やレポートが理解できるようになる。

カテゴリーC : 授業は日本語で実施するが、板書やスライドにて専門用語を英語で示す。

(英語化における到達目標) 英語の学術用語、表現が理解できるようになる。

カテゴリーD : 全て日本語

各授業科目の英語化カテゴリーは、シラバスの「使用言語」にて知ることができます。

なお学部、大学院における英語化カテゴリーは、学部は「B または C」、大学院は「A または B」を基準とすることが原則となっています。ただし、授業科目の専門性に応じて授業英語化レベルや配当学年は、各学科、専攻によって調整されます。

ここで連絡します授業英語化の取り組みは、平成 28 年度を準備期間として、平成 29 年度より本格実施することとなりますので留意の上、各授業の選択、修得に努めて下さい。

2016 年 3 月

神戸大学工学部、工学研究科 教務委員会